

糸をかしへのお便り

糸をかしには「父親会」と「保護者会」があります。

「父親会」では社会のプロであり人生の達人でもあるお父さん方から事業の在り方や人生の武勇伝等を伺っています。

「保護者会」の皆さま方には糸をかしの日中活動の在り方や支援に関わる部分

について連絡や意見交換をしています。

また、バザー品の販売などでも接客のプロとして大きな力になって頂いています。

この度「父親会」「保護者会」の代表を務めるお二人から「糸をかしへ期待すること」というテーマで文章を頂きました。



～笑顔で元気あふれる「糸をかし」に!!～

「父親会」は、「糸をかし」の活動を支援することを目的に10年以上集まりを続けてきました。しかし、これと言った提案もなく、いつも放談会とカラオケで終わってしまい、申し訳ない限りです。その間に「糸をかし」の活動は、社会に向かって大きく羽ばたいて実績も上がっています。

それは笑顔が多い職場づくりの結果で、「笑う門には福来る」の言葉通り、スタッフのみなさんの努力のたまものだと思います。ある公民館のお祭りに、初めてこんにやく販売を紹介したのですが、館長やス

タッフに大変喜ばれました。それは、明るく大きな声で販売する姿に、お祭りの雰囲気盛り上がったからだと思います。

まだまだ課題はあると思いますが、これからも明るく元気な「糸をかし」であることを願っています。



中井進彌
(父親会代表)

～娘と共に多くの出会いを重ね～

娘と共に多くの出会いを重ね、娘の成長に、行動に一喜一憂しておりました。そして、18年前に、糸をかしと西口さんに巡り会いました。

娘は、糸をかしとその仲間が大好きで、毎日楽しく糸をかしに通っています。その姿を見て安心すると共に、スタッフの方々の利用者への関わりに、親として絶対の信頼が置けることの幸せを感じております。

平成27年の創立20周年に向かって、子供達の持てる力を信じ、それぞれのできることを捜しながら、一人ひとりの個性を伸ばすことのできる機会に、もっともっと出

会えることを期待しています。そして、自分を愛する様に、仲間も大切にできる人に育ってほしいと願っています。

新しい年も、糸をかしの皆が元気で幸せな一年でありますように。



片山真紀子
(保護者会代表)